

全学セミナー 兼 寄附講座「思考の可視化」キックオフ公開講演会レポート

2011.12.16 遠隔教育研究センター

概要:

富士通寄附講座の「思考の可視化」のキックオフ講演会が東京サテライトで実施され、この内容を旭台キャンパスに配信するとともに、Ustream で配信した。会場の東京サテライトからだけではなく、配信先の旭台キャンパスからも質疑が行われた。Ustream ではユニーク視聴者数が 1866 件とかなりの盛況であった。

スケジュール:

日時：12月16日(金) 13:30~15:30

場所：東京サテライトキャンパス Room C,D,E - JAIST 知識科学研究科 講義棟 中講義室

スケジュール：13:30~13:35 開催挨拶 学長

13:35~13:45 寄附講座「思考の可視化」の説明 飯田教授

13:45~15:15 講演 米長特任教授

15:15~15:30 質疑応答

参加：学内関係者(教職員・学生) 20名

飯田先生関係者 20名

富士通関係者 20名

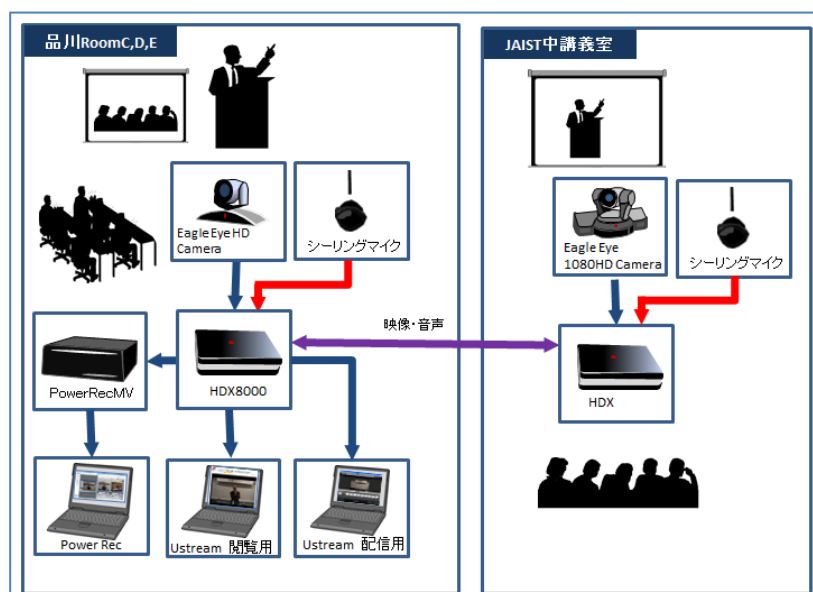
その他一般受講者

講演題目：「コンピュータ対人間—デジタルとアナログ—」

講演者：情報科学研究科 米長 邦雄 特任教授（日本将棋連盟会長）

講演内容：コンピュータ将棋の発展によってプロ棋士のレベルに到達したと考えられている。コンピュータが人間（プロ棋士）と対戦するときには様々な課題がある。コンピュータの挑戦を受けて立つトッププレイヤーの視点から、いくつかの課題に焦点を当てて、要点を整理するとともに、課題への回答を模索する。

構成図:



講演の様子:



統計情報:

